雜　錄 Miscellaneous

○こならきくさ京城ニ越冬繁殖スル（佐藤月二）

京城産ノ本植物ニ就テハ、本誌 14 卷 2 號 143 頁ニみぢんこうきくさ *Wolffia arrhiza* WIMMER ノ新分布地トシテ紹介シテ置イタ。其後本種ノ學名ニ就テハ正宗嚴敬博士、中路正義氏、津山尙氏等ニヨツテ上記學名ニ改メラレ、最近ノ名著本田正次博士ノ日本植物名彙ニハみぢんこうきくさ科 Wolffiaceæ ガ揭ゲラレタ。筆者ハ從來ノ產地ガ多ク南方諸地方デアツタタメニ、新タニ京城ニ進出シタ本植物ガ當地ノ樣ニ冬期零下十八・九度ニモナル處デモ越冬シ繁殖スルデアラウカト云フ事ニ興味ヲ持チ、昭和 12 年秋ノ最初ノ發見以來、注意ヲ拂ツテ居タノデアルガ、昭和 14 年秋ニナツテ郊外往十里ノ芹田・水溝ニ夥シク繁殖シテヰルこならきくさヲ發見シタ。コレデヤツト京城デモ充分越冬スルコトガ明カニナツタノデ、今後ハユツクリ發生ヲ調ベル積リデアル。因ニ京城ノ最低氣溫ノ極數ハ 1927 年ニ零下 23.1 度ヲ示シテヰル。

○さんこたけ（三鈷茸）京城南山ニ產ス（佐藤月二）

特異ナ形態ヲシテヰルあかかごたけ科 Clathraceæ ノさんこたけ *Pseudocolus Schellenbergiæ* (SUMSTINE) JOHNSON ヲ昭和 14 年 6 月 4 日 (1939) 京城ノ公園トモ呼バレテヰル南山ノえごのきナドノ生エテヰル雜木林下ニ採ツタ。標本ハ 3 腕ヲ有スル唯 1 個デアルガ、朝鮮カラハ初記錄デアルト信ズル。菌蕾ハ長サ 1.7 cm, 托ハ 5.5 cm 程アツテ 2.5 cm アタリカラ 3 分岐シテヰル。生時ハ托ノ腕部ハ桃紅色ヲ呈シ美麗デアツタ。

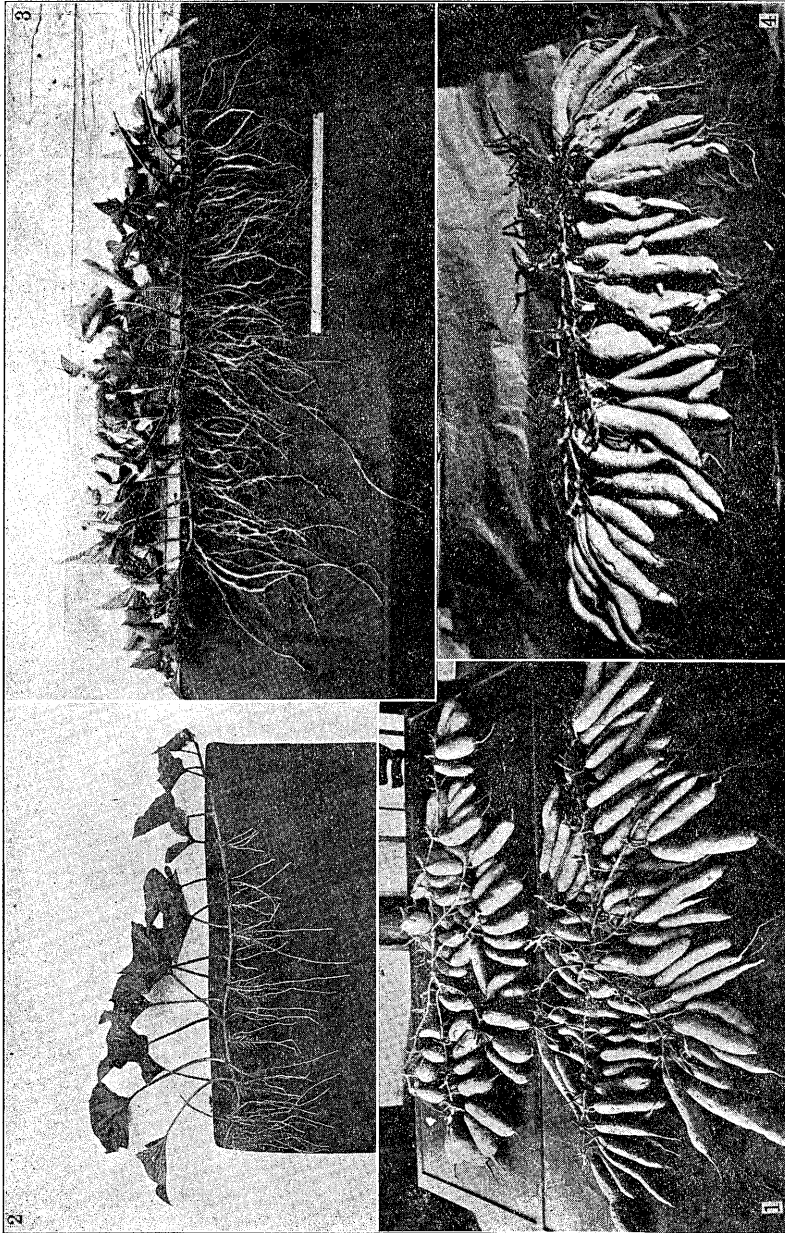
○きぬがさたけ朝鮮ニ產ス（佐藤月二）

昭和 15 年 2 月 12 日慶尙南道晋州農學校ヲ訪フテ、博物標本室ニきぬがさたけ 2 本ガ浸漬サレテヰルノヲ見出シ、同校河村駒市教諭ニ乞フテ、其 1 個ヲ讓リ受ケタ。コノ茸ハ同地方ノ竹林中ニ屢々發生スル由デ、筆者ガ戴イタ標本ハ脚苞徑 4 cm, 茸ノ全高ハ 24 cm 餘、傘ノ高サ 5 cm ヲ測ルコトガ出來、コノ種トシテハ大形ナルモノデアツタ。標本ヲ割愛サレタ河村教諭ニ感謝スル。

○さつまいもノ美事ナ收穫（今關六也）

燃料資源トシテ、食糧問題ノ解決ノタメニ或ハ長壽ノ糧トシテ甘藷ヘノ關心ガ飛躍的ニ高マツテ來タノハ矢張リ事變以來ノコトデアル。昨年ノ暮河井彌八氏ガ來館サレ美事ナ諸ノ寫眞ヲ披露サレタコトガアル。ソコデ折良ク同席サレタ久內淸孝氏ノ慫慂モアツタノデ、河井氏並ニ栽培者諸氏ノ御許シヲ得テ此處ニ御紹介シヨウト思フ。

第 1 圖ハ靜岡縣小笠郡西鄉村ニ於ケル甘藷多收穫競作地デノ收穫狀態ノ 1 例デアル。手前ガ白飯鄉種デ 1 株ノ收量 88 本、重量ハ 5 貫 100 匁、後方ハ赤飯鄉種デ同ジク 61 本、5 貫 200 匁ト記錄サレタ。收穫ガ多少早目ニ行ハレタ爲ニ重量ハ必ズシモ大トハ云ヘナイガ都會地近郊デ遊山ガテラノ芋掘リニ興ズル我々ニハコノ寫眞ハ旣ニ驚異ニ値スル。聞クトコロニヨレバ 1 株カラ 15〜6 貫迄ヲ期待シ得ルトカ。

3
4
2
1

扨テ斯カル美事ナ收穫ヲ見ル爲＝ハ勿論其丈ノ研究ト準備ガ必要デアル。ト云ツテ專門外ノ筆者ガソノ具體法ヲ記サントスルノデハナイ。唯前記競作地デハ元靜岡縣農會技師丸山方作氏ノ指導ヲ受ケ氏ノ研究＝ナル改良栽培法＝ヨツタモノデアルコトヲ紹介スル＝トヾメル。寫眞第 2 圖ハ苗ヲ本圃＝挿シテカラ 10 日目＝於ケル發根狀態デアル。苗ノ優秀ナコトハ一見シテモ判ル通リデ實＝美事ナ發育振リヲ示シテ居ル。丸山式＝ヨルト苗ハ長サ 1 尺餘リ、重量＝シテ 1 本 10 匁位ノモノヲ選ブト云フガ、是ガ同式ノ第一特色デアル。斯カル苗ハ從來ノ一般法＝比シ數倍＝達スル目方ヲ有シテ居ル。第 3 圖ハ挿苗後 27 日目ノ發育振リデ、莖＝ハ既＝數本ノ枝ヲ生ジ、又根モ夫々肥厚ヲ始メ塊根形成ノ初期ヲ示シテ居ル。第 2, 3 圖共＝背景ノ黑紙ハ地下部ヲ現ハシ、從ツテ苗ハ地表下約 1 寸ノ位置＝水平＝埋メラレ、先端ノミ地上＝現ハレル樣ナ挿苗法ガ行ハレテ居ルコト＝注意サレ度イ。第 4 圖ハ前圖ヲ撮影後、同一株ヲ原圃場カラ凡ソ 7 里距ツタ畑＝移植シ、約 4 ケ月ノ後採集シテ撮影シタモノデアル。第 3 圖ト比較シテ觀ルト塊根發育ノ經過ガ明カ＝判リ、甚ダ興味ガ深イ。

寫眞ノ說明ハ簡單乍ラ以上デ終ルガ、コノ寫眞ヲ見テ自宅ノ庭＝甘藷ノ一坪栽培ヲ試ミ、坪當リ 10 貫餘リモ作ツテヤラウ等ト考ヘラレタ讀者ハ丸山氏ノ御指導ヲ受ケラレテハ如何。但シ筆者＝ハ丸山式ガ最良ノ甘藷栽培法デアルカドウカハ判ラナイ。唯同氏ハ氏ノ改良法＝ヨツテ甘藷收穫ヲ從來ノ 3 倍＝迄引キ上ゲ、若シ 2 倍ヲ目標トスルナラバ何人＝モ容易デアルト言ツテ居ラレルコトヲ附記シテ置ク。因＝丸山氏ハ現在靜岡縣ノ大日本報德社講師トシテ農事改良＝沒頭サレテ居ル。終リ＝コノ有益ナ寫眞ヲ紹介サレタル貴族院議員河井彌八氏＝深謝スル。

○くろはなびらたけ＝ヨル新中毒例（今關六也）

昨年ノ 5 月頃鹿兒島縣伊集院中學校ノ土井美夫氏カラ同地方＝起ツタ未知ノ菌中毒ノ事實＝關スル報知ヲ受ケ、且ソノ毒菌ノ標本ヲ送付サレ種名ノ鑑定ヲ乞ハレタ。該菌ハ鏡檢ノ結果 *Bulgaria* ＝屬スルモノデアツタガ、更＝是ヲ小林義雄氏＝御訊ネシタ處同氏ガ植物學雜誌 53 卷 628 號＝新種トシテ發表サレタくろはなびらたけ (*Bulgaria frondosa* Y. KOBAYASI) ＝他ナラヌコトヲ知リ、直チ＝ソノ旨土井氏＝返事シタ。折返シ同氏ヨリ伊集院町ノ醫師デ同中毒患者ヲ診察セル佐伯新吉氏ノ詳シイ臨床手記ガ送付サレタ。依テ同氏ノ手記＝基キコノ珍ラシイ菌中毒ノ新事實ヲ報告シタイ。云フ迄モ無ク本菌＝ヨル中毒ハ學界未知ノモノデアリ、而モ類緣菌中未ダ恐ラク有毒種ガ知ラレテ居ナイコトヨリシテ、甚ダ學術的興味ガ深イ次第デアル。同菌ハ小林氏＝ヨレバ伊豆地方＝テ椎茸榾木上＝生ズルト云ハレ、ソノ形態ハきくらげヤにかはたけノ或種＝類似シ、誤食ノ虞レ充分ナル外觀ヲ呈シテ居ル。大方ノ御注意ヲ喚起シタイモノデアル。以下佐伯氏ノ手記＝ヨリ、症狀ソノ他ヲ記ス。

「現症」昭和 14 年 5 月 8 日午前 8 時頃隣村上伊集院村入佐ヨリ南一家＝漆中毒（俗稱ウルシマケ）＝テ苦悶シテ居ル故往診ヲ乞ハル。

父　甲（氏名略）70 歲。　母　乙 62 歲。　子（男）丙 17 歲。（農業）